

令和5年産 麦類技術情報 第2号

令和5年2月16日

宮城県美里農業改良普及センター

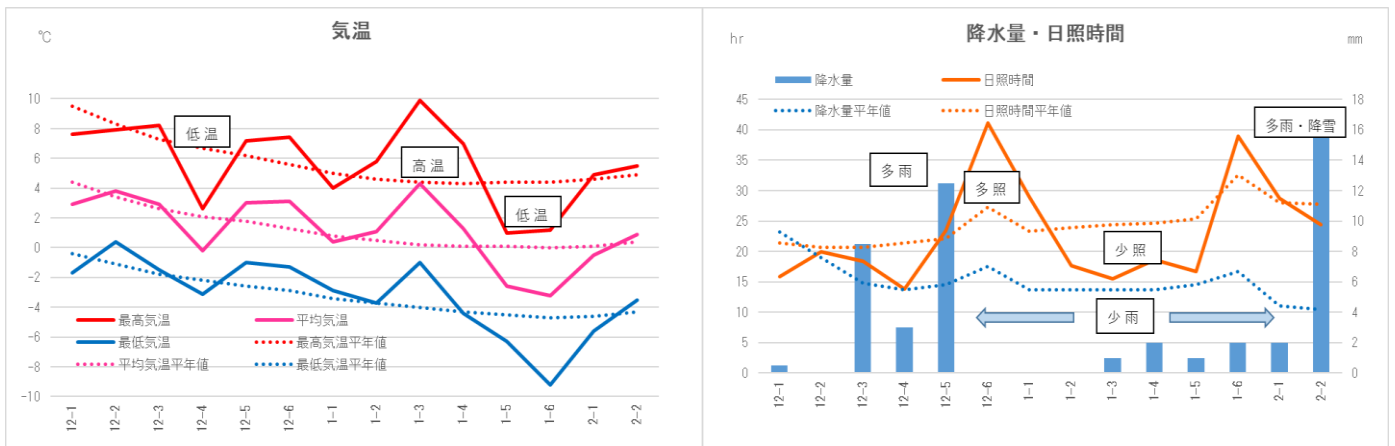
TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



ほ場条件を確認し、積極的な排水対策を実施しましょう！

1 気象経過 (12月第1半旬～2月第2半旬：アメダス鹿島台)



気温は、1月第4半旬までは平年より高い期間が多かったが、1月第6半旬は最低気温が平年より約5℃低く、強い低温となった。日照時間は1月は少照傾向、降雨は12月第6半旬～2月第1半旬の間は少雨であったが、2月第2半旬は多雨となり、10日には降雪も観測された。

2 生育調査ほ生育概況

表 小麦生育調査結果

地区名	地点	品種	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	播種日			12月15日調査						2月10日調査					
					本年値	前年差	平年差	草丈			莖数			草丈			莖数		
								本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値 (cm)	前年比	平年比	本年値 (本/m)	前年比	平年比
大崎市 鹿島台	大迫	シラネコムギ	11	25	10月14日	7日早	23日早	11.9	165%	209%	996	803%	178%	10.2	116%	119%	1176	676%	184%
涌谷町	猪岡 短台	夏黄金	10	22	10月28日	7日早	9日早	10.3	123%	141%	318	141%	104%	8.6	96%	116%	575	148%	139%

※平年値は過去5か年の平均値を使用。

両ほ場とも播種が早く、11～12月の気温が比較的高かったことから、莖数は平年を大きく上回り、前回調査よりも増加率が高くなった。草丈は、鳥による葉の食害の影響で前回を下回った。

一般ほ場では、11月中旬までに播種したほ場は葉数が進み、莖数を確保している。それ以降の播種では、播種直後の降雨や低温による出芽の遅れ、湿害による生育不良、低温による葉の褐変が発生している場も見られる。

また、管内全域で、白鳥やガン等鳥類による葉の食害が確認されている。

3 今後の管理について

(1) 排水対策：一部ほ場では、ほ場表面に停滞水が見られます。

- ・過湿条件では、根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少、葉の黄化等の障害が発生するため、麦類では排水対策が重要です。
- ・麦踏みや追肥等の適期作業にも、しっかりした排水対策が肝心です。
⇒明きよを確認し、円滑に排水できるよう手直しをしましょう。
⇒ほ場で停滞水を確認した場合は、早急に排水につなげましょう。

(2) 麦踏み：ほ場条件を整え、茎立ち前までに実施しましょう。

- ・麦踏みは、離乳期（3～4葉期）から茎立ち（主稈長2cm、幼穂長2mm程度）前までに実施しましょう。
- ・生育が再開する起生期（融雪期：平均気温4℃）頃の麦踏みは、生育のバラツキ解消に有効です。過湿条件での麦踏み作業は逆効果となることがあるので、排水対策などほ場条件を整えてから実施しましょう。
- ・実施可能な目安は、「ほ場に入ったとき、靴の裏に土がつかない程度」です。

(3) 追肥：広域的に鳥害が発生しています。ほ場を確認しましょう。

- ・鳥よけには吹き流し（2mの支柱に1m×3mの黒マルチ）が有効という事例があります。
- ・地上部が無くなるなど被害が大きい場合、茎数不足の株直し追肥と同様に、穂数確保に向け追肥（窒素成分量で1～2kg/10a）を検討します。
- ・今後は追肥の時期に入るので、作業しやすいほ場条件整備やほ場ごとの生育量・生育ステージの確認など、準備を進めましょう。

表 麦類標準施肥体系

施用時期		10月上～中旬 基肥	2月上～中旬 株直し追肥	3月中～4月上旬 幼穂形成期追肥	4月中～下旬 減数分裂期追肥	5月上～中旬 穂揃期追肥
栽培品種	肥料形態		<幼穂形成前> 【葉色の維持】	<幼穂長2～3mm> 【穂数増加】	小麦<幼穂長2～5cm> 大麦<幼穂長2～3cm> 【一穂粒数増加】	<80～90%が出穂> 【千粒重、 タンパク含量向上】
シラネ コムギ	窒素成分量	7～9kg/10a	基本的に 行わない ただし、 越冬前茎数400本/ ㎡以下では、穂数 確保のため追肥を 検討する。	2.5kg/10a	5kg/10a	2.5kg/10a
	肥料現物量	40～50kg/10a (尿素磷加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)	5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)
夏黄金	窒素成分量	8～10kg/10a		2.5kg/10a	5kg/10a	5kg/10a
	肥料現物量	50～60kg/10a (尿素磷加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)
ホワイト ファイバー	窒素成分量	8～10kg/10a		2.5kg/10a	2.5kg/10a	—
	肥料現物量	50～60kg/10a (尿素磷加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	— —

注) 基肥欄の尿素磷加安777号は現物肥料の一例。追肥欄の尿素と硫安はどちらかを施用。